

環境かわら版

ごみゼロ

いちのみや530作戦実施中

No. 3 (2003年3月17日 発行)

広報いちのみや(1/15号)で、ごみ減量の取り組み、身近な情報を募集したところ、皆様からいくつか情報やご意見をお寄せいただきましたのでご紹介します。

積極的にごみ減量に取り組んでいます。～和楽～

時之島で食品店を営んでいる「和楽(TEL 51-9559)」さんからFAXで情報をいただきました。

『今では90%以上のお客様がマイバックを持参していただけるまでになりました。……野菜もハダカ売りが(量り売りも)基本です。野菜は新聞紙でつつみます。再生商品では、牛乳パックでしかも無漂白の再生トイレトペーパーを売ってます。』とのことです。



今後の一宮のごみ対策に期待しています。

また、市民の方から貴重なご意見をお便りいただきました。

『プラスチックとビニールのリサイクル、近い将来、ぜひ取り組んで下さい。……今後の一宮のごみ対策に期待しています。がんばって下さい!!』とのご意見です。ご期待に添えるように、さらに頑張りたいと思います。

<回 覧>

*裏面もお読みください。

「ごみ減量」についての座談会を開催 (1月31日)

「市民・事業者・行政」の有志が集まって、形式ばった会議というかたちではない座談会を開催しました。

それぞれの立場で「ごみ減量」について取り組んでいますが、この機会に多くの情報を得て、横のつながりを深めたいという思いからです。



座談会の席上、それぞれの立場から様々な意見が出されました。

市民より

対面販売の店を増やしてほしい。またトレイをなくしてほしい。常時、資源ごみを出せる施設を建設してほしい。

事業者より

トレイがなくても買ってくれる人が増えれば、店もそのように対応する。レジ袋の削減は、コストダウンにつながるため、積極的に取り組んでいる。

行政より

ごみ処理の有料化に踏み切る前に、いろいろな手段を検討したい。

引き続き、皆様からのごみ減量の取り組み、身近な情報をお待ちしています。

FAX : 45 - 0923

郵 送 : 〒491 - 0201 一宮市奥町字六丁山52番地

メール : seiso@city.ichinomiya.aichi.jp